

本日より開智タイムスタート

本日より、開智タイムがスタートしました。昨日、職員室の黒板にこの時間、どこの学年・学級が何をやっているのかが、分かるように伊藤先生に黒板を整理していただきました。この時間に他の学年を参観できるように、ぜひ、みんなで内容と場所を共有しましょう。

また、この時間は、特別支援でも、特支探究ということで進めてくださいます。もし、原級でどうしても教科の授業を入れる場合は、原級対応をお願いできるとありがたいです。できる限り、探究の時間に充ててください。よろしくお願いします。

さらに、この時間は開智の探究的な学びの時間だということを松本市教育委員会の主事の先生にもお伝えしてありますので、突然参観に来られる場合がありますが、気にせずに授業を行ってください。探究 Co も参観したいと思います。

不安を抱えたままのスタートを迎えている先生もいらっしゃると思いますが、「子どもに委ねる」「子どもの声を聞く」などを意識しながら開智タイムの時間を作っていきましょう。

昨日の探究部会では、「子どもの伴走者になるとはどういうことか」ということで、4年生と6年生の探究的な学びの実践をもとに、「もし、松本城に子ども達と一緒に出掛けるなら、どんな言葉かけをするか」「学校に残って、本やインターネットで調べている子ども達にどんな言葉かけをするか」など、具体的な事例をもとに、言葉かけや伴走の方法を考えました。

今まで、何となくやっていたことをいざ言語化する難しさもありましたが、先生方と話をしながら、こういう場面では、こんな言葉かけをすればいいかなやこんな風に関わるといいのではないかなど、共有することができました。

他の先生方の参考になるように、職員室の探究スペースの黒板やこの探究だよりにも記載しますので、ぜひ参考にいただければありがたいです。

本口(木曜)の 探究一見・数校野 ・内容場所			
	1組	2組	3組
1年			
2年	⑤ 大宮の鳥 大宮 大宮		④ だんご作り 言+画
3年	⑤⑥ うちたんかん	④ セリー作り ふりかすり(教室)	⑤ 学童庭 くわの実とり
4年	⑤⑥ 調査 北校舎3F	⑤⑥ 調査 松本城	⑤⑥ 調査 博物館
5年		① 教室 藍染め準備	② 教室 加ジャクク練習
6年	⑤⑥ 調査 松本城	⑤⑥ 調査 女鳥羽川	⑤⑥ 調査 縄子
7年	⑤ 自然観察・工作		

言葉かけ

- ・分かったことは何？
- ・気づいたことは何？
- ・思ったことは何？
- ・何が知りたいの？
- ・知ったことをどうしたい？
- ・他に気になったことはない？

伴走（サポートのヒント）

- ・子どものメモや気になったことから共通点などを見つける手助けをする。
- ・見る視点のヒントになるように声をかける。
- ・実際に見たりさわったりさせる。
- ・ネットや本で調べる前に、知りたい理由を掘り下げてみる。
- ・新たな疑問がでるような声掛けをする。

また、風越学園の実践を取り入れ、4年生と6年生は子ども達一人ひとりに探究ノートを持たせることにしました。そのノートに何を書かせるかなども、検討しました。探究的な学びの学習カードの参考になればいいと思います。松本市の研修を受けてきた古畑先生からは、「明善小学校では、スケッチブックを使って、廊下に飾ってみんなで情報を共有していた」との情報を出していただきました。4年と6年で探究ノートを廊下に置いて、子ども達同士の情報共有の場が自然にできるように場の工夫もしていきたいと思います。

いよいよ、4年生と6年生は、それぞれに分かれて調査活動を行います。まずはとりあえず調べてみるという感じではありますが、その調べたことからさらに子ども達の「やってみたい」が引き出せるように伴走していきたいと思います。

4、6年合同総合～教室での調べ学習～



同じテーマの子ども達の共有場面



探究スキルを活かして・・・

6年生では、国語の「話す・聞く」の単元を入れ替えて、「インタビューの方法」の学習を進めてくださいました。また、その方法がみんなで共有できるように掲示もしてくださっています。

開智タイムが始まってはいますが、「これは、開智タイムに使えるスキルかも」というものは、ぜひ、単元入れ替えをしていただければと思います。

ちなみに、4年生は昨年度の国語の学習にあった「山小屋で3日間過ごすためには」の学習が大変役に立ち、先日、学年総合で調べてきた情報をまとめ、新たな問いを見つける際に、子ども達にしっかりスキルが身に付いていたことに驚きました。あの2時間は、ほとんど子ども達だけで進め、次の時間への見通しをもつことができました。子ども達の力はすごいです。

